

12/25 京旗

米兵PCR検査せず入国

全在日基地 9月から

林芳正外相は24日の記者会見で、米軍基

地を訪れる全ての米兵が米国などを出発する際のPCR検査を免除されていたことを明らかにしました。

接種の促進を受けた米国防総省の方針に基づく対応だといいます。

感染再拡大に転じており、米国でも11月以来、再拡大に転じています。どうわけ、今月に入り、「米軍任せ」の方針はもはや破綻しており、

位協定第9条に基づき、出入国管理に関する国内法の適用が除外されていません。そのため、日本の入管を経由するため、旅券も持たず、自由に出入国できます。検疫は、原則として日本側による検査・検疫の実施に踏み切るべきです。また、米艦は9月以降の入国者の足取りを明確にすべきです。米側がそれらを拒むのなら、國民の命と健康を守るために、基盤の即時閉鎖・

PCR検査が実施されています。しかし、世界保健機関(WHO)の統計をみてても、世界的には感染者の7割程度を占めています。

解説 新型コロナ・ウイルスの新変異株「オミクロン株」の世界

的な感染拡大を受け、日本政府は外国人の入国を原則禁止しています。しかし、在日米軍は日本地

域では「眞似」、「在

いことが判明し、林芳正外相も「日本側の措置と整合的ではなかった」と認めざるを得ませんでした。「米軍任せ」の方針はもはや破綻しており、

「米軍任せ」もはや限界

地位協定の抜本改定は急務

「米軍任せ」もはや限界

日本側による検査・検疫の実施に踏み切るべきです。また、米艦は9月以降の入国者の足取りを明確にすべきです。米側がそれらを拒むのなら、國民の命と健康を守るために、基盤の即時閉鎖・

PCR検査が実施されています。

(竹下田)